

WEEKLY Rotary 一宮中央RC REPORT



世界に希望を生み出そう

2023～2024年度 RIテーマ
世界に希望を生み出そう
地区方針「培おうプライド、育もうブランド、そして未来へ！！」

THE ROTARY CLUB OF ICHINOMIYA CENTRAL

- 創立1990年10月31日 ● 承認1990年11月16日 ● 事務局 〒491-0858 一宮市栄4丁目6番8号 一宮商工会議所ビル5F
- 例会日時 毎週水曜日(PM6時～7時) TEL 0586-24-1959 FAX 0586-71-4390
- 例会場 一宮商工会議所ビル3Fホール E-mail: icrc@alpha.ocn.ne.jp URL: http://www.138crc.com
- ◇ 会長 内田泰潤徳 ◇ 会長エレクト 大塚省治 ◇ 副会長 山田 満 ◇ 幹事 野田義広 ◇ クラブ会報委員長 鈴木宣宏

令和6年4月24日(水)

第1539回(当年度第32回)例会

本日のプログラム

会員卓話

「カンボジア国際奉仕活動報告」
国際奉仕委員長
伊藤 恒二郎君

第1538回例会(当年度第31回の記録)

- 令和6年4月10日(水) 18:00～19:00
- 会場 一宮商工会議所ビル3Fホール
- 開会の点鐘 内田会長
- 国歌「君が代」ロータリーソング「奉仕の理想」
- ゲスト グエン ティ ホアイトウオン様(米山奨学生)
- 会長挨拶 内田泰潤徳



4月7日(日)名古屋マリオットアソシアホテルにて2024-25年度地区研修・協議会が行われました。各次期委員長は報告をお願いします。

(第1分科会 大塚省治次年度会長、第2分科会 秋田敬治次年度クラブ奉仕委員長、第4分科会 伴卓樹次年度国際奉仕委員長、第5分科会 松岡正浩次年度職業奉仕委員長、第7分科会 岩田真周次年度青少年奉仕委員長)

2024-25年度第2760地区ガバナーは、名古屋南ロータリークラブの吉川公章さんです。吉川公章さんは医師で専門は呼吸器と感染症予防です。以前は、大同病院の院長、理事長をされてました。

年齢は私と同じです。私はこの吉川公章さんとは以前、地区に出向してました時、3年間ほどポリオ根絶に協力するポリオプラス委員会及び先進医療を提供する地区職業研修チームで同じく活動してました。海外にも同行しました。大変明るい方で、どんな人ともすぐ親しくなれる素晴らしいお医者さんです。また常にパソコンを携帯し、IT活動にも優れてみえる方です。ご活躍を期待しております。

□ 米山功労者感謝状授与



第1回米山功労者 浅井 清史君

□ I R G 会表彰



第132回IRG会
令和6年3月28日(木)
明世カントリークラブ
優勝 永田 正君



出席報告	会員総数	36名	
	出席会員数	24名	66.67%
	他クラブ出席数	0名	
	修正出席率	前々回(3/27)	100%



第1分科会 次年度会長 大塚省治君

2024-25年度 地区研修・協議会の報告について

出席義務の理事、役員、委員長の皆様次年度のための地区研修・協議会にご出席して頂きありがとうございました。

4月7日マリOTTアソシアホテルにて2024-25年度地区研修・協議会がかくも盛大に開催されました。

冒頭、吉川公章ガバナーエレクトより所信表明として、RIステファニーA. アーチック会長テーマ「ロータリーのマジック」を受けて、「魅力あるクラブ、持続可能な奉仕活動、成長するロータリー」と述べられました。

次に特別講演として、服部陽子パストガバナーより「DEIからクラブ活性化へ」と題してDEI(多様性、公平さ、インクルージョン)を自クラブへ用いることによりクラブが活性化すると説いておられました。

第1分科会では

- 1、MyRotaryクラブセントラルの目標登録方法について
- 2、ロータリーフードフェスティバル(RFF)について
- 3、ロータリーの危機管理
- 4、地区防災対策委員会のテーマについて
- 5、会員増強について

以上5項目クラブ運営上必要なことについてご指導頂きました。特に「行動計画の4つの優先事項にそって戦略計画を立案し、クラブセントラルの活用(数値化)を通じて目標の達成に取り組んで下さい。」とのことでした。

次年度に向けてとても有意義な時間をすごせたことに感謝いたします。



第2分科会 次年度クラブ奉仕委員長 秋田敬治君

第2分科会は「魅力的で持続可能なそして、成長する例会を創る」というテーマで開催されました。

西本次期地区副幹事の開会あいさつで始まり、照井次期地区ラーニング委員長のリーダーあいさつ・1st家庭・2nd職場・3rd居心地の良い場としてのRC・>

の後、古田地区前研修実行委員長が温故知新一例会について考えてみようで次のような提言をされた。

- ・会員の卓話をもっと増やす
- ・親睦は飲み会だけではダメ
- ・会長挨拶はRCの事を中心に
- ・ロータリーの友に必ず目を通す・・・

RCは例会が一番大切 一丁目一番地であることを忘れない！

その後、本分科会メインスピーカーの高野孫左衛門ロータリーの友委員長(2620パストガバナー)が「元気のクラブを目指して」と題し分かりやすく丁寧に講話をされ、久しぶりに感銘を受けた！

まとめとして中山次期ガバナー補佐から講評を頂き、最後に西本次期地区副幹事の閉会の言葉で締めくくられました。本当に有意義な時間を過ごす事ができ、この出会いに感謝致します。

第3分科会 次年度クラブ会報委員長 森 眞君

ロータリークラブの公共イメージ向上についての研修を行いました。

基本的には「私たち自身がよりロータリーを深く知り、それを内外へ発信する」ということに帰着します。従前の『広報』と現在使われる『公共イメージ向上』のニュアンスの違いは、伝えようとする意識の積極性の強さにあり、パワフルな発信のためには、ロータリーの良さを自身で感じ取り、誇りをもって口頭・文字・イベント等を通じ他に伝える努力を継続することが肝要です。

ロータリーでは、会員がロータリーをより深く知るための有効な支援策として、『マイロータリー』を用意しています。利用には登録することが必要ですが、地区公共イメージ向上委員会では登録率60%を目標にしています。(ちなみに一宮中央RCの登録率は2月現在63.89%)ここにはいろいろなサイトが用意されていますが、中でも『ラーニングセンター』の活用について推奨がありました。ぜひ訪れてみてください。

次に紹介された支援策は、『ロータリーの友電子版』です。HOMEにある【『友』電子版アーカイブ】は、クラブ・会員専用提供されるサービスで、過去から現在に至る『ロータリーの友』がデータ整理されており、キーワードによる検索など、とても有用なアシスタントとなりそうです。利用するためには、各クラブにID・パスワードが与えられているということです。事務局江崎さんへご確認ください。

参加者同士のフリートークの後、最期に水谷豊次期ガバナー補佐から「これからはボトムアップでロータリーの公共イメージを創り上げていく時代」とのまとめがありました。私もそうありたい願うひとりです。



第4分科会 次年度国際奉仕委員長 伴 卓樹君

第4分科会は、主に海外での奉仕活動の報告発表でございましたのでご紹介されました活動内容を報告させていただきます。

まず、2021～23年度に行われた地区国際奉仕委員会

によりラオス国際奉仕事業についてです。内容としては、簡易水道を得るための給水塔の設置でございます。ラオスでの国際奉仕活動は10年間で5基目の給水塔、簡易水道事業を行ってきたそうでその設置によって子供たちは大変な水くみ作業から解放され有意義に学校へ通えるようになったそうです。

ロータリークラブとしては、主に建設資材を提供しまして給水塔の建設と村人の自宅までの水道配管工事を村人自身が行いまして、維持管理はロータリークラブが提供した水道メーターで村人同士で組合を作り定期的にメンテナンスを行っているそうです。

水道の使用料を払えない貧困家庭は維持作業に雇用され給金から水道代を支払う形になっています。

水の水質検査は県環境局によって行われているそうです。こうした中がかつて現地に設置されていた井戸の深さは10m程で雨期には水位が上がり浅く掘った井戸は汚物が混入して衛生上非常に悪い状態でしたので35m~50m掘って建設し衛生管理を凶ったそうです。

さらに環境事業として子供たちの果樹園を作るため2020~21年に苗木を約2800坪の土地に300本、翌年2021~22年に約3300坪の土地に300本植えることができ、地区クラブ及び会員から事業協力資金の提供を頂き、ラオスで「水と衛生」そして「環境」による奉仕活動が出来たと報告して頂きました。

他には名古屋千種RCのカンボジア小学校の井戸建設事業、豊橋RCのタイのチェンライ県での自立に向けた生活環境の整備支援事業などの活動報告を頂きました。

どちらのクラブも20年以上、25年以上に渡って国際支援を継続されているクラブのご紹介を頂きました。クラブの結束力と力強さを感じる事ができ、たいへん熱を感じる分科会で勉強させて頂きました。ありがとうございました。



第5分科会 次年度職業奉仕委員長 松岡正浩君

テーマは「ロータリーのマジックにより持続可能な大きなインパクトをあたえよう。~四つのテストと超我の奉仕の実践~」です。

内容としては、各リーダー等のあいさつの後、8~10人程度のグループに分かれ、職業奉仕として各クラブ何をするか！そして、四つのテストについて何かアクションしてますかという事を一人一人意見を出し合いました。

第6分科会 次年度ロータリー財団委員長 長橋國和君

本会議の後、特別講演があり、「DEI(多様性、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会経済的地位、文化、性別、性的指向、性自認への言及にかかわらず、あらゆる背景、経験、アイデンティティをもつ人がいること。

公平さ、参加者が快適かつ生産的な体験をできるよう、さまざまなレベルの支援、機会、リソースを提供する方法について慎重に検討すること。

インクルーシブ、すべての人が歓迎され、尊重さ

れ、大切にされる経験を創造すること。)からクラブ活性化へ」の演題でRIラーニング ファシリテーター2023服部陽子様より講演が有りました。

その後各分科会が開催された。

ロータリー財団委員会は高山景一次期ロータリー財団委員長長の挨拶の後、「ロータリー財団を学ぼう」というテーマにて、ポリオプラス/職業研修チームについて、グローバル奨学生 平和フェローについて、補助金について、資金推進について、ロータリーカードについて、資金管理について、を細かく各地区委員長より話がありました。

特にポリオ(小児マヒ)ポリオプラス(はしか、ジフテリア、結核、百日咳等)の根絶まであと少しと、地区補助金、グローバル補助金について勉強になりました。最後に全体会議で次期ホストクラブの紹介が有り、講評の後、閉会しました。

毎年の地区研修協議会では有りますが、大変勉強になりました。



第7分科会 次年度青少年奉仕委員長 岩田真周君

第7分科会では、「日本の未来の為に青少年と共に進もう」のテーマにて、インターアクト委員会・ローターアクト委員会・RYLA(ライラ)委員会・青少年交換委員会・学友委員会の5の委員会委員長より、次年度の方針等について聞いて参りました。

①インターアクト委員会について

インターアクトクラブでは、12~18歳の中学・高校生が、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員(通称「インターアクター」)との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っていきながらも、先生の入替わりにより熱量も大きく変わってしまう事の問題。

②ローターアクト委員会について

たくさんの仲間 各地のローターアクト会員と交流し、自分がやってみたいことにチャレンジし、仲間たちと考えながら行動すること。同じ志を持った人たちとの交流は、何歳になってもかけがえのない宝物。

③RYLA委員会について

RYLAセミナーは、社会貢献を目指す仲間たちと出会い、互いにつながり、協力しながら、リーダーとして必要な知識とスキルを学ぶ絶好の機会。

④青少年交換委員会について

世界100か国以上で実施されている国際ロータリー青少年交換は、ロータリークラブによる支援の下、言語と文化を学びながら、海外に友人をつくり、世界市民として自覚を養うことができるプログラムだが、インバウンドに対するホストファミリー不足やいやな経験をしたがために受けがたいなどアウトバウンドのむづかしさが問題。

⑤学友委員会について

ロータリーのプログラムを通じてロータリー活動を体験した人、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、RYLAなどに参加した人達で、地域社会貢献や国際貢献の重要性とやり甲斐や喜び、リーダー

シップの育成や仲間との友情を育んでも、多くの学友はその後ロータリー活動から離れてしまっています。

青少年奉仕委員会において、若い次世代のリーダーを育てること。

我々ロータリアンはお金をだすだけではなく、いろいろな分野で活動し共に汗をかき頭も使い、RCの活動にて恩恵を受けた者はその喜びを次の青少年に伝えていける活動と環境作り「心・想い・人・人生」を紡いでいく大切さを学ぶことが出来ました。



第8分科会 次年度米山奨学委員長 山田秀代君

2760地区は会員数が多い割には基金が少ないとの事でした。遺言寄付金、会社の売上が良かったので大口寄付金の話もありました。

米山奨学生を月一回の出席ではなく色々な例会にも出席させて回数を増やして仲良くして、日本が良かった、そして日本で就職したり、自国に戻って日本の良かった事を役立てて貰える様にして頂きたいとの事でした。カウンセラーのパワハラ、モラハラ等ハラメントに気を付けて下さい。

米山奨学生の月額の話が出て東京と地方では掛かる費用が違うので同じ金額を渡さないで地方を少なくして地方の奨学生を増やしたらと言う意見が出ました。現在はロータリアン一人当たりの寄付金が平均で15000円、これを一人当たり平均額を20000円になるように今後はしていきたいと言う事でした。

第9分科会 入会3年未満新会員 中井義也君

ロータリークラブ第9分科会に参加いたしました。

最初に、ロータリーは、面白いかどうか？

参加者の皆さんに挙手で手を挙げる機会がありました。多くが、今は、わからないという回答で、わからないということは、これから楽しくなるということとであり、ロータリー活動の基礎として、ロータリアンとはどうあるべきかということについて学びました。

四つのテストについて・奉仕の理念について学び、価値観を行動に変えて行こうという言葉にとっても共感いたしました。

名古屋名駅RCパストガバナー神野重行様から「真のロータリアンを目指して」と題してご講演をいただきました。

7:38:55の法則だったり、ロータリーの目的・三大義務そして、挨拶、心を開いて心に近づく、これこそロータリーということを教わりました。

親睦のうえに奉仕活動への参加・実践があればきっと真のロータリアンになれるでしょうと締められました。

私自身も少しずつですが、実践に繋げて参りたいと感じました。貴重な機会をありがとうございました。

ロニコボックス (ABC順)

☆理事会一同

☆秋田敬治君 本当に暖かくなりましたね、桜も満開そろそろ散り始めかも？先週日曜日午後、地区研修・協議会では、第2分科会で久しぶりにロータリーの本質に触れる話が聞けました。感謝感激です。

☆伴 卓樹君 例会に出席できたので。

☆井上雅樹君 例会に出席できたので。

☆松岡正浩君 例会に出席できたので。

☆宮田浩二君 健康であることに。

☆永田 正君 地区研修・協議会出席の皆さん、ご苦勞様でした。大塚次年度会長には一宮に戻ってから席を用意頂きご馳走になりました。いつもありがとうございます。

☆野田義広君 地区研修・協議会に出席された皆様お疲れ様でした。研修報告よろしくお願ひします。

☆大塚省治君 次年度のための地区研修・協議会に出席義務の理事・役員・委員長の皆様、ご出席頂きありがとうございました。

☆佐藤祐造君 長谷川正己様、春の園遊会ご招待お目出度ございます。心よりお祝い申し上げます。

☆内田泰潤徳君 本日は地区研修・協議会の報告です。出席された方の分科会報告をお願いします。

☆山田 満君 例会に出席できたので。

ロ第10回理事会報告

報告事項

①ニコボックス残高 991,738円

②ロータリーレート 1ドル 151円 (前月末151円)

③会計監査役の交代について

(旧)大森 進君 (新)西岡則男君

理由：会員退会のため

④2024学年度米山奨学生オリエンテーション

2024年4月11日(木) 13:30~16:30

ホテルメルパルク名古屋

山田(秀)次年度米山奨学委員長(登)5,000円

⑤第3回西尾張分区会長・幹事会

2024年6月14日(金) 17:30~会議18:00~懇親会

オルクドール

内田会長・野田幹事(登)13,000円×2名

審議事項

①第1535回例会(3/13職場例会)の決算に関する件

②第1538回例会(4/3花見例会)の決算に関する件

【全て承認】

2024年5月1日(水) 休会(定款7-1d)

次回 2024年5月8日(水)の例会予定

卓話

「ローターアクトの現状と課題」

地区ローターアクト委員会

委員長 山田 康二様(豊田RC)